

シルバーカレッジ講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術・工芸専攻）

| | | | | | |
|---|--------------------------------------|------|----|----|-----|
| 項 目 | 陶芸 | 対象学年 | 2年 | 場所 | 美術室 |
| テーマ | 手びねり、ひもづくりで器を作る(全のべ4回・ただし他の課題と重なります) | | | | |
| 講 師 | 丹波立杭焼 日本工芸会正会員 市野哲次 | | | | |
| <p>講義内容</p> <p>一年生で習った、手びねり・ひもづくりの技法を使って器を作ります。</p> <p>デザインを考えて、制作工程を自分で理解できるように学習を進めます。</p> <p>何の器を作るのか、どう使うのかを考えデザインを決めます。</p> <p>土、釉薬、加飾技法などをどう使うのかを考えながら陶芸の制作工程を復習します。</p> <p>出来れば休みの間に陶芸の作品を鑑賞し、いろんな技法を探してください。</p> <p>また、白化粧による掻き落とし（かきおとし）技法、一部掛け等を習います。</p> | | | | | |
| <p>講師よりメッセージ</p> <p>手びねり、ひもづくりの技法の特徴を考えるとデザイン、制作がしやすくなります。</p> <p>また、1年間でさまざまな加飾技法（掻き落とし、マスキングテープを使った釉薬の塗り分け、仕上げの時に器を刻む、けずる、刷毛目、色化粧）にもチャレンジしましょう。</p> | | | | | |

シルバーカレッジ講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術・工芸専攻）

| | | | | | |
|---|-----------------------------------|------|----|----|-----|
| 項 目 | 陶芸 | 対象学年 | 2年 | 場所 | 美術室 |
| テーマ | たたらづくりで箱物を作る(全のべ4回・ただし他の課題と重なります) | | | | |
| 講 師 | 丹波立杭焼 日本工芸会正会員 市野哲次 | | | | |
| 講義内容 | | | | | |
| <p>たたらの特性を生かして箱物を制作します。</p> <p>型紙作成やたたらの接着の時期、接着の方法などを学びます。</p> <p>また、素焼き後、マスキングテープを使って釉薬の塗り分け等にチャレンジします。</p> | | | | | |
| 講師よりメッセージ | | | | | |
| <p>粘土の接着は難しいのでこの機会にしっかりと覚えましょう。</p> | | | | | |

シルバーカレッジ講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術・工芸専攻）

| | | | | | |
|--|--------------------------------------|------|----|----|-----|
| 項 目 | 陶芸 | 対象学年 | 2年 | 場所 | 美術室 |
| テーマ | 蓋物を作る(全のべ5回・ただし他の課題と重なります)／使う作品・見る作品 | | | | |
| 講 師 | 丹波立杭焼 日本工芸会正会員 市野哲次・陶芸家 赤松真木 | | | | |
| <p>講義内容</p> <p>今までの技法を使って蓋のある器物を制作します。</p> <p>どの技法を選んでも構いません。</p> <p>何を作るかも自由です。</p> <p>身と蓋の合わせ方が大切です。</p> <p>合わせの部分の作り方を学びます。</p> <p>また、仕上げの時に器を刻んだり、けずったりしてみましよう。</p> <p>作品制作の考え方を学びます。</p> <p>使う作品を考える時や、見る作品を考える時、 どうアプローチするかヒントを学びます。</p> | | | | | |
| <p>講師よりメッセージ</p> <p>手びねりから電動ろくろまで、どの技法で挑戦するか、楽しい課題です。</p> | | | | | |

シルバーカレッジ講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術・工芸専攻）

| | | | | | |
|--|----------------------------|------|----|----|-----|
| 項目 | 陶芸 | 対象学年 | 2年 | 場所 | 美術室 |
| テーマ | 電動ろくろ（全のべ8回・ただし他の課題と重なります） | | | | |
| 講師 | 丹波立杭焼 日本工芸会正会員 市野哲次 | | | | |
| 講義内容 | | | | | |
| <p>電動ろくろの練習をします。</p> <p>電動ろくろを使った水挽は、便利な技法ですが、慣れるまでに時間がかかります。</p> <p>菊練り、土殺し、中心を出す練習を重ねましょう。</p> <p>全員が、一度は挑戦できるようにします。</p> <p>また、電動ろくろを使って刷毛目を施したり、色化粧を使ってさまざまな技法にチャレンジしましょう。</p> | | | | | |
| 講師よりメッセージ | | | | | |
| それぞれの力量に合わせて、無理なく挑戦できるといいと思います。 | | | | | |

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術工芸専攻）

| | | | | | |
|---|---------------------|------|----|----|-----|
| 項目 | 陶芸 | 対象学年 | 2年 | 場所 | 美術室 |
| テーマ | 絵付けの基礎（絵付けのための絵を学ぶ） | | | | |
| 講師 | 陶芸家 赤松真木 | | | | |
| 講義内容 えんぴつを使い、ケント紙に自然物の絵を描きます。 虫めがねでよく見て、自然物の観察をすることが目的です。 よく見て見つけたことを丁寧に描いてみます。 線で描いてみましょう。 | | | | | |
| 講師よりメッセージ 肩のこる課題ですが、観察する方法を学びましょう。 | | | | | |

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース美術・工芸専攻）

| | | | | | |
|---|----------|------|-----|----|-----|
| 項 目 | 陶芸 | 対象学年 | 2 年 | 場所 | 美術室 |
| テーマ | 上絵付け実習 | | | | |
| 講 師 | 陶芸家 赤松真木 | | | | |
| 講義内容 | | | | | |
| <p>本焼きの後に絵の具（上絵の具）を使って絵を描きます。</p> <p>その後 800 度で焼成して完成を楽しみます。</p> <p>下絵とは違う絵の具を使うので、色が鮮やかです。</p> | | | | | |
| 講師よりメッセージ | | | | | |
| <p>いろいろな技法を体験してみましょう。</p> | | | | | |

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）総合芸術コース美術・工芸専攻

| 項目 | 美術 | 対象学年 | 2年 | 場所 | 美術室他 |
|--|---|------|----|----|------|
| テーマ | 美術の多様な技法を体験的に学び、さまざまな視点から美術を知る。それらの体験を通して、自己の表現世界を探る。 1. パステルを使って、気持ちを表わす 2. クリアグラフ制作 3. 作家に学ぶ（模写） 4. 音楽と美術 5. 校外学習「兵庫県立美術館」 | | | | |
| 講師 | 鍛田和見、勅使河原君江、田村文生 | | | | |
| 講義内容 1. パステルを使って、気持ちを表わす（鍛田和見） パステルを使って、具象的な表現にこだわらず、色の重なりやパステルの柔らかなマチエールを生かして、感情を表してみましよう。 | | | | | |
| 2. クリアグラフ制作（鍛田和見） 古典的なガラス絵の手法を使った表現技法に取り組みます。ガラスの代わりに、プラスチック板を使用し、板をニードルで線を引っ掻いて描き、アクリルジェッソ絵の具で着彩する。 | | | | | |
| 3. 作家に学ぶ（模写）（勅使河原君江） 画家の作品を正確に写し取ることで、巨匠の絵画技法を学ぶだけでなく、画家の制作方法のプロセスとともに思考プロセスを追体験することができます。 | | | | | |
| 4. 音楽と美術（田村文生） 音楽と美術は、芸術の異なった分野ですが、相互に影響しあった作品を授業で紹介します。実際に、美術に影響を受けた音楽を実際に聞いたり、音楽に影響を受けた美術作品を紹介します。美術と音楽が相互のイメージを生む源泉を理解し、芸術の多様性を学びましょう。 | | | | | |
| 5. 校外学習「兵庫県立美術館」（勅使河原君江） 美術館で鑑賞と模写を行います。対話型美術鑑賞（美術館スタッフと鑑賞者、鑑賞者同士が作品に関して対話をするすることで、鑑賞を深める手法）を行い、その後、美術館の作品を模写します。 | | | | | |
| 講師よりメッセージ 多様な描画方法に取り組んだり、音楽と美術、画家の作品から絵画技法を学ぶ等、これまでの美術概念を崩して、新しい自己表現の発見につながるよう、積極的に挑戦していきましょう！ | | | | | |

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）総合芸術コース美術・工芸専攻

| 項目 | 美術 | 対象学年 | 2年 | 場所 | 美術室他 |
|---|---|------|----|----|------|
| テーマ | <p>油彩画及びアクリル画制作を、静物画制作または風景画制作、人物画をモチーフとして実践します。</p> <p>1. 油彩画及びアクリル画制作（静物画または風景画）</p> <p>2. 油彩画及びアクリル画制作（人物画制作）</p> <p>3. 学園祭作品の講評</p> | | | | |
| 講師 | 神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授 岸本吉弘 | | | | |
| <p>講義内容</p> <p>油彩画及びアクリル画制作を、静物画制作または風景画制作、人物画をモチーフとして実践します。</p> <p>1. 静物画または風景画制作 全3回</p> <p>静物画や風景画における構図の取り方や、形（透視図）や素材感、立体感や距離感などの基本的な描画要素から、油絵具を使用した色彩（基調色）や下地制作、マチエール（表情）などの表現を学びます。</p> <p>2. 人物画制作 全2回</p> <p>人物画における構図の取り方や、プロポーションなどの基本的な描画要素から、油絵具を使用した色彩（基調色）や背景の工夫、マチエール（表情）などの表現を学びます。</p> <p>3. 学園祭作品の講評 全1回</p> <p>再現力（構図、描写）、表現力（色彩、マチエール）などの視点から、皆さん作品を振り返り、今後の課題も探ります。</p> | | | | | |
| <p>講師よりメッセージ</p> <p>絵画作品の魅力は「上手さ」とは別の次元にあります。技術や経験も大事ですが、油彩画ならではの皆さんのユニークな表現を期待しています。一緒に楽しみましょう。</p> | | | | | |

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース美術・工芸専攻)

| | | | | | |
|---|---------------------------|------|----|----|-----|
| 項目 | 美術・工芸 | 対象学年 | 2年 | 場所 | 音楽室 |
| テーマ | 美術と音楽の交錯 | | | | |
| 講師 | 神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授 田村文生 | | | | |
| 講義内容 | | | | | |
| <p>20世紀以降、美術と音楽は、その写實的「形」よりも「空気」や「色彩」そのものを描くことを始めました。そのような革命をもたらしたターナー、ホイッスラー、モネらの作品と音楽との関連、また、ピカソ共同作業をした作曲家ストラヴィンスキーの作品、カンディンスキーの描いた作曲家シェーンベルクの演奏会の様子から読み取れることなど、美術と音楽の関連性・親近性について解説します。</p> | | | | | |
| キーワード | | | | | |
| 印象主義、野獣主義、キュビズム、表現主義、ダダイズム、ミニマリズム、楽音、騒音 | | | | | |
| 授業時間内で | | | | | |
| ・講義 ・録音・映像資料の視聴 を行います。 | | | | | |
| 講師よりメッセージ | | | | | |
| <p>作家と作曲家は、かなりコラボレーションしていたようです。</p> <p>美術や音楽を「楽しむ」という営みに加え、「考える」という視点が加わることにより、今まで見ていた・聴いて世界の広がりを感じて頂ければと思っています。</p> | | | | | |